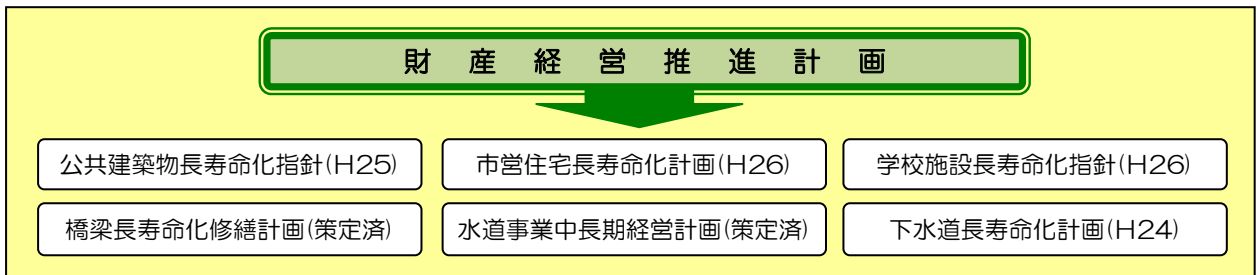


資料 1 「財産経営推進事業」について

1 「財産経営」のロードマップ

項目（内容）	推進工程		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
固定資産台帳 公会計 基準モデル 決算 H24 試行、H25 本格実施	施設、価額の 総量把握	本格実施 （精度向上） H25 秋試行版公表	・ ・ 毎年更新 H26 秋本格実施版公表
施設カルテ 各施設の利用状況、 コスト費用を把握	資料2 200 施設 試行実施	約 1000 施設の 個別データを整理	・ ・ ・ 毎年更新
財産白書 類似施設比較による 問題点抽出	資料3 モデルケー スで解析	全施設を比較 俯瞰を可能に	・ ・ 定期的に更新
財産経営推進計画 将来人口、施設老朽化、 社会ニーズを踏まえた計画		推進計画策定 方向性を示す	市民協働により 各資産別に推進



2 「施設カルテ」、「財産白書」の作成

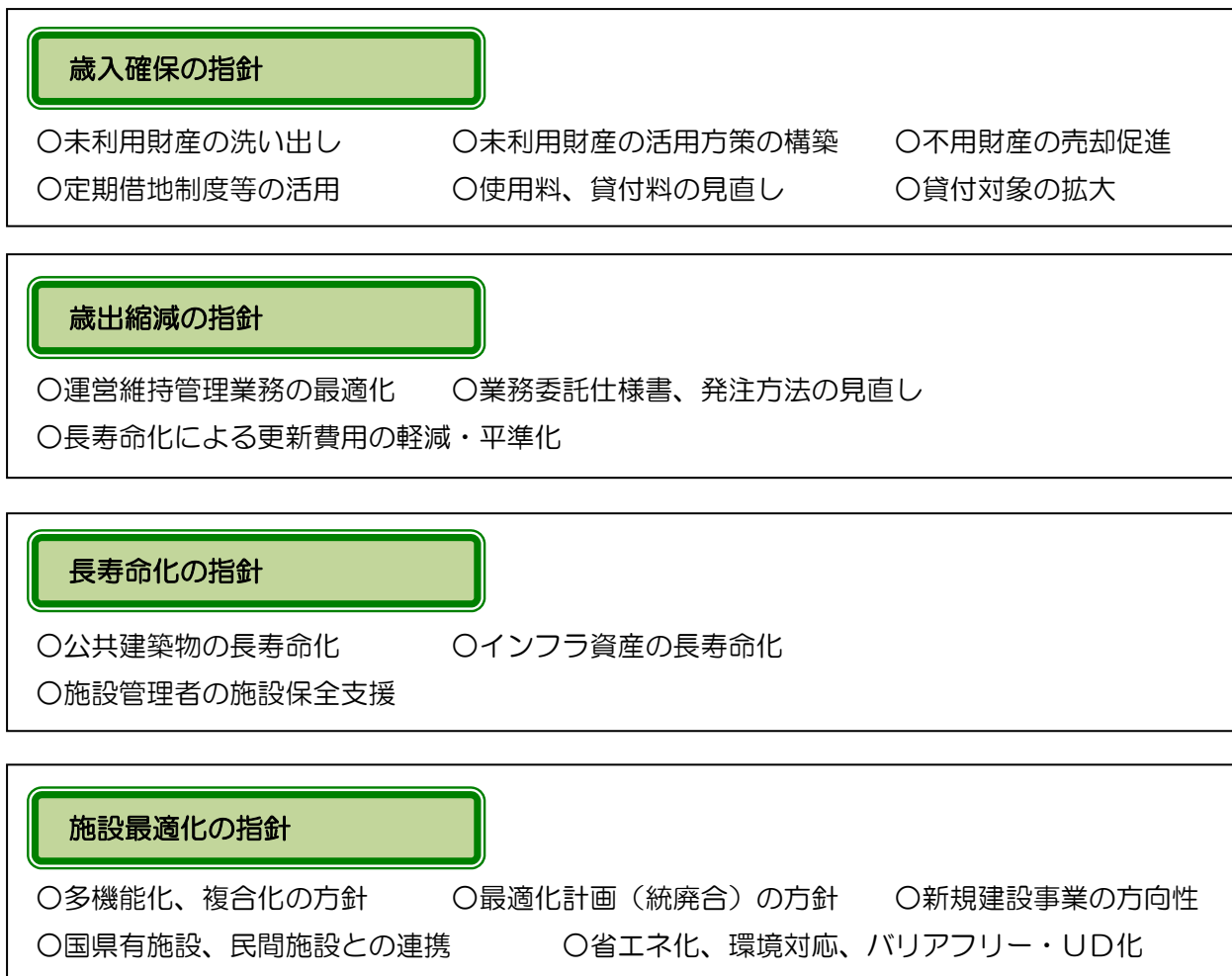
施設カルテ（ほぼ全施設を対象）
○土地や建物などの基本情報 ○施設の利用情報 ○施設のコスト情報 ○施設の性能、利用度、コストに関する評価情報

財産白書（横串により比較、分析）
○コスト情報、利用度を比較 ○未利用財産等の公表 ○借用財産等の公表 ○利活用情報を公表 ○国県有施設、民間類似施設の把握 ○将来人口と床面積 ○インフラ資産を含む財産の長寿命化費用を集計

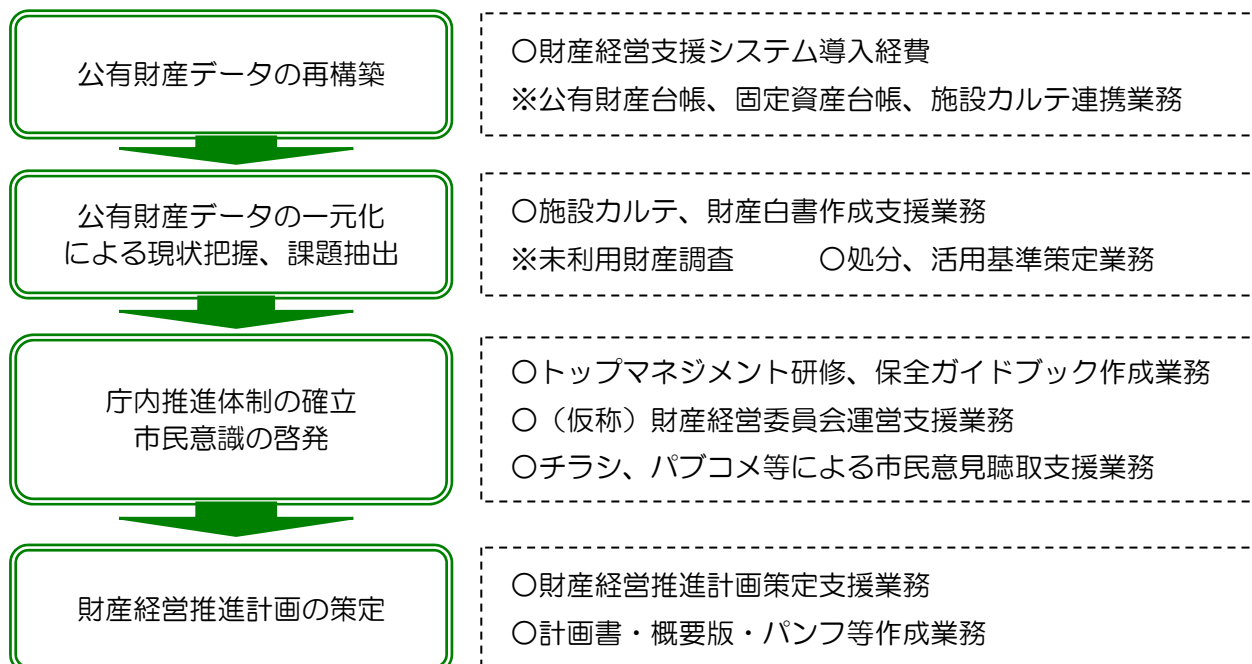
○試行版、◎モデルケースから把握された課題と傾向 ・ ・ ・ 資料 2、3
○複合施設の複雑な管理実態 ○市有類似施設の利活用比較項目が不一致 ○データ容量から解析能力が限界を超える ○市有施設以外の類似施設の調査把握が必要 ◎施設の立地条件、規模によりコスト、利用状況に大きな差が見受けられることを確認 ◎利用率、床面積当たりコストなどから改善検討の必要性がある施設が判明

3 「財産経営推進計画」の策定基本方針

本市が所有する財産を経営資源と捉え、効果的・効率的な利活用の促進や長寿命化による計画的な保全などにより市民サービスの向上と財政負担の軽減を図る次の指針を策定します。



4 「財産経営推進事業」の概要【予算額 17,000 千円】



※は「財産経営推進事業」以外で対応